

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (1 3)	ホームの移転から1年半が過ぎ利用者にも非常口の理解が進み、スタッフの指示により自らの力で避難することができるようになってきている。しかし、より速やかに安全に避難するため、場合に応じた避難経路・方法を全スタッフが把握し、判断できるようになるとともに利用者が誘導・指示に従い、行動できるようになることが必要である。	職員が状況に応じた避難方法を判断でき誘導できる。利用者が誘導に従い、安全に避難することができる。	避難訓練の際、避難場所に指定された高校まで移動し、スタッフ・利用者が避難場所を知る。また、散歩時などにも再確認し、認知に努める。訓練時に消防署の立会いを要請し、安全な避難方法の確認やアドバイスをもらい、それに基づいた訓練を実施する。	3ヶ月 ヶ月
2	49 (1 8)	散歩にも消極的な利用者もおられ、ホームだけが生活の場となっている。生活が単調なものになっており楽しさや喜びを感じられる機会が少ない。	利用者が期待感をもって外出できる機会を増やすことで生活に張りを持ってもらう。	利用者の希望の場所や季節の行事等、外出の機会を増やし、それに向け気持ちを盛り上げるような環境作りをしていく。また、楽しかった思いを皆で共有し合い、次の外出へつなげていく。	6ヶ月
3	23	はっきり意見の言える利用者と同調してしまい、自分の意見を表せなかったり、今までのホームの生活から職員が「こうだろう」と決めてしまい「今」の本人の希望がくまれていないことがある。	「今」のその人の希望や思いを丁寧に聞き取り、生活に反映させていく。	意見の表しづらい人に対しては、1対1で話を聞く機会を作り、意向の把握に努める。また、「今の希望」を聞き、できるだけ実現につなげ、その人らしい生活の支援に努める。	3ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。